

PROSODY AND GRAMMAR FESTA 4

共催：国立国語研究所 共同研究プロジェクト
「対照言語学の観点から見た日本語の音声と文法」
神戸大学人文学研究科

日時：2020年2月15, 16日（土，日）
会場：神戸大学 六甲台第2キャンパス 瀧川会館

参加費無料
事前登録不要

2020/2/15(土)14:00~17:30 シンポジウム 日本語と言語類型論

- 「最適性理論と言語類型論」田中雄（同志社大学）
- 「認知言語学と言語類型論」守田貴弘（京都大学）
- 「生成文法と言語類型論」岸本秀樹（神戸大学）
- 「計算言語学と言語類型論」窪田悠介（国立国語研究所）
- 「日本語の語順と言語類型論」山本秀樹（弘前大学）

2020/2/16(日)10:00~11:45 研究発表

- 「名古屋方言における疑問文の音調と言語構造」田中真一（神戸大学）
- 「ヒンディー語のとりたて表現」今村泰也（麗澤大学）
- 「日本語名詞修飾構文の獲得」木戸康人（神戸大学）

13:00~14:20 ポスター発表 [裏面]

14:30~16:15 研究発表

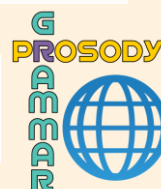
- 「複数局面経路の言語表示類型：日本語と他言語の比較から」
松本曜（国立国語研究所）・吉成祐子（岐阜大学）・長屋尚典（東京大学）（他）
- 「日本語のモーラに基づく最小詞の(非)字義的用法について：形式意味論・対照言語学的アプローチ」澤田治（神戸大学）
- 「名詞修飾表現の地理類型論：日本語と世界諸言語の対照から見えてくるもの」
プラシャント・パルデシ（国立国語研究所）



伝える・育てる 言葉の未来
国立国語研究所
創立70周年・人間文化研究機構移管10周年



発表題目は変更になる可能性があります。
詳細は後日、下記の国立国語研究所WEBページにて公開します。
<https://www.ninjal.ac.jp/event/specialists/project-meeting/>



2020/2/16 (日) ポスター発表 (13:00~14:20)

1	宮田瑞穂 (東京大学) 「時間的用法からモーダル用法への拡張—日本語「もう」とドイツ語 schon の対照研究—」
2	宮岸哲也 (安田女子大学・大阪府立大学客員研究員) 「授受動詞の使役的用法の類型論的研究」
3	冀媛媛 (名古屋大学) 「ペアマッチした中国人および韓国人日本語学習者によるプロソディの知覚の比較」
4	Lee, Seunghun ^{*1*2} , Guillemot, Céleste ^{*1} , Le Xuan Chan ^{*1} , Mana Ashida ^{*1} (* ¹ International Christian University, * ² University of Venda) “Intonation of questions in Drenjongke”
5	何秋林 (筑波大学) 「日本語と中国語の「連体修飾語 + 抽象名詞」を含む属性叙述構文について」
6	黒木邦彦 (神戸松蔭女子学院大学) 「現代日本語方言間に認められる語類予測度の差異: 忠實性および発話労力の面であり反する方言を資料として」
7	松浦年男 (北星学園大学) 「天草地方の方言類型論を目指して」
8	石田崇 (筑波大学) 「 <i>Dolphin-Safe Can</i> は「イルカに安全な缶」?—概念統合からみる日英語のA-N表現—」
9	萩澤大輝 (神戸市外国語大学) 「ゆずすこ、ポリタン、ボナーラフェア: 創造的語形成の日英対照」
10	渡部直也 (東京大学) 「英語からの[æ]の受容: 日本語とロシア語の比較」
11	森山倭成 (神戸大学) 「動詞エコー返答文の派生に関する不定主語テストの妥当性とpro脱落型言語について」
12	Yuko Morokuma, Kazuki Aoyama (The University of Tokyo) “Differential subject marking in Japanese, Quechua, and Mee: A comparative study of Japanese-like languages”
13	氏家啓吾・石塚政行 (東京大学) 「「XはYがZだ」の対照: 日本語とバスク語の二重主語コピュラ文」
14	李慧 (東京大学) 「日本語における2つのパターンのV1V2型複合動名詞の項の実現に関する一考察」
15	氏家洋子 (北京日本学研究中心客員研究員) 「日本語の主體的・モーダルな表現の特質: 副詞的表現を中心に」

